

Hongwanji Buddhist Mission of Australia

シドニー本願寺報

32 Burra Road, Artarmon 2064
PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Email : hbma@optusnet.com.au
http://www.hongwanji.com.au



年頭の辞



新しい年のはじめにあたり、
ご挨拶申し上げます。

昨年も一昨年に引き続き、私たちの生活は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行に対応したものとなりました。ここに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、治療・対策にあたられている医師、看護師を

はじめとする医療従事者の方々、ライフラインの維持に努めておられる方々に深く敬意と感謝を表します。

この新型コロナウイルス感染症は、私たち一人一人の生活に大きな影響を与えました。これまでの生き方や働き方が大きく変化することで、自分自身の思い通りにならないこと、先の見通しがたたないことに悩みや苦しみを抱えている方も多いのではないのでしょうか。親鸞聖人は、ご和讃に「浄土真宗に帰すれども 真実の心はありがたし 虚仮不実のわが身に 清浄の心もさらになし」とうたわれました。阿弥陀さまのおはたらきによって知らされる私たちの本当の姿は、縁起や無常、無我というこの世界のありのままの真実をそのままに受け入れることができずに悩み苦しむ姿です。

親鸞聖人は、そのような私たちに阿弥陀さまのおはたらきが届いていることを明らかにされました。それは、精一杯生きる私たち、たとえそれがどのような結果であったとしても、そのまま救うというおはたらきです。阿弥陀さまのおはたらきの中にある安心感は、私たちに明日への勇気を与えてくれます。

いまだに新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない世界ですが、阿弥陀さまのおはたらきを聞き、それを依りどころとして日々

(2ページにつづく)

もくじ

ご門主 年頭の辞	1
お寺の予定表	1
新年のご挨拶	2-3
今月のことば	3
HBMA ニュース 報恩講	3-4
除夜会、修正会	4
書き初め	
年回表	4
ご 懇 念 録	4

★ お寺の予定表 - Calendar ★

Jan	16 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
	23 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
Feb	6 (Sun)	11:00am	二月祥月法要/February Shotsuki Memorial Service
	13 (Sun)	11:00 am	涅槃会 / Nirvana Day Service
	20 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
	27 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
Mar	6 (Sun)		クリーンアップ・オーストラリア・ディ / Clean up Australia Day
	13 (Sun)	11:00 am	三月祥月法要/March Shotsuki Memorial Service
	20 (Sun)	11:00 am	日曜礼拝 / Sunday Service
	21 (Mon)		〔本願寺報発行 / New Bulletin Issue〕



頭春

二〇二二年 正月

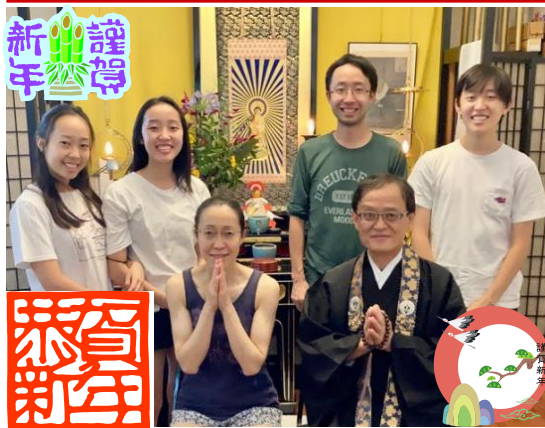
本年も、どうぞ宜しく
お願い申し上げます

渡部開教使ファミリーより

シドニー本願寺報読者の皆様へ



浄土真宗本願寺派
門主 大谷 光淳



家族一同より
「今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます！」

新年のご挨拶

『シドニー本願寺報』読者の皆さまにおかれましては無事に新しい年をお迎えになられたこととお察し申し上げます。

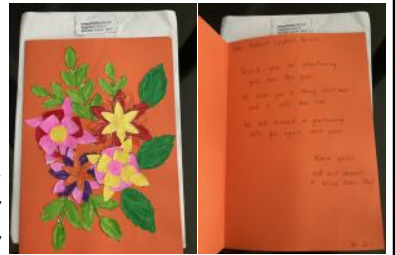
旧年中は、皆様に大変お世話になりました。開教事務所をアーターモンに移転して初めての年始を迎えとなりました。コロナ禍の中、多くのご縁ある皆様のお陰で、2021年も無事に開教活動を続ける事が出来ましたことをうれしく思うことです。

ただ、2022年に入ってもまだオミクロンが猛威を振るっており、まだまだ収束には至っていない現状ではありますが、重症者数が減り、予防薬、治療薬も開発されて近い将来にはコロナも普通の病気の一つとなり、普段の生活に戻れることを信じ、それまではしっかりと安全対策を講じながら日々の活動を粛々と続ける所存ですので、引き続きオーストラリア開教事務所をご支援の程、どうか宜しくお願い申し上げます。

2021年を振り返りますと、やはりこれまで同様多くの皆様とのご縁を頂いた有り難い一年となりました。

昨年度は年始めからは、特にコロナの影響もなく、学校での授業が普通に開始され、この年初めてのキララ小学校で仏教スク립チャークラスを教え始めることができました。4月には生徒たちと共に釈迦様の誕生を祝う花祭りもお勤めすることが出来てその時の様子が仏教連盟のホームページにも紹介されました(左)。ただ、6月後半より再びコロナ規制が強まり、ボランティアは学校へは行けなくなり、そのまま年を終えることとな

りましたが、年末に子供たちから手作りカードを受け取ったことはとてもうれしい出来事でした。



キララ小生徒からの手作りカード



クリーンアップオーストラリア
ディ(07/03/21)

3月7日は恒例となったオーストラリア最大のボランティア・イベント、クリーンアップオーストラリアディに参加しました。(全体写真は撮影不可でした。)



本山参拝の際のジョー
シ・ゲッテンビー師

同日、アデレードでは昨年末から入院していたゲッテンビー師が往生されたというニュースが届き、師をよく知っている私たちは深い悲しみに包まれました。葬儀は19日にパラスケボポロス師と共にアデレードにて執行致しました。



東日本大震災10周年追悼読経
(11/03/21)

同日11日には、シディで催された東日本大震災10周年追悼式典にて読経と黙祷の導師をさせて頂きました。この式典が10年を迎えたと

いう事で最後となりましたが、この間本当に沢山の出会いがあったことに感謝する次第です。

4月、5月には、仏教連盟オフィスにての花祭り、そして降誕会&年次総会が無事に行われました。

5月18日には、RNS病院よりこれまで20年間のボランティア活動を



20年のボランティア
表彰(18/05/21)

表彰して頂いたことは有難いご縁でした。ただ、昨年はリズムアでの平和式典、お盆、カウラでのお参りは残念ながらキャンセルすることとなってしまいました。

(3ページへつづく)



開教事務所ご本尊



おせち料理



NSW州仏教連盟の
ホームページより



マラソンのゴール前
5キロ地点(26/09/21)

9月のシドニーマラソンは今年も実際のコースは走れませんでした。再びバーチャルでのイベントに参加し、無事シドニーでの寺院建立と世界平和を願う5度目のマラソンを敢行。今年も無事完走することができました。

11月28日には無事に報恩講が初めて現在の開教事務所にて厳修されました。

そして年の瀬も押し迫った12月19日お参りの後、開教事務所の仏具のお磨きを参列者と共に行うことができました。

ロックダウン以外の週末は定期的な日曜礼拝は、今年前半は仏教連盟のオフィスにて、そしてロックダウンが開けた10月半ばより新しい開教事務所にて行われており、また、チャプレン等のボランティア活動も引き続き行って参りました。

日系社会ではシドニー日本クラブの理事(会報の編集長)、並びに、日本人会水泳部の部長としてお手伝いをさせて頂いており、コロナ安全対策を万全にした上で毎週の活動を続けてきました。12月18日には二年ぶりとなる日本の祭がチャッツウッドで開催されたことは嬉しいニュースでした。

2022年も更に昨年以上に様々な場所でご縁を結ばせて頂きたいものと思っております。開教事務所の運営も困難な局面を迎えておりますが、皆様のご支援を頼りにできる限りのことをして活動を続けたく思っております。引き続きご協力を心よりお願い申し上げます。

阿弥陀様の廣大無辺な智慧と慈悲の心から発せられている信心は、国や人種、言葉の壁を越えて全ての生きとし生けるものたちに平等に至り届いています。その信心が既に私たち一人一人に至り届いていることを喜び「南無阿弥陀仏」と共に、自分のできることを実践しつつ、新たな一年を感謝の気持ちで歩んで行きたいものと思っております。合掌

オーストラリア開教事務所長
渡部重信



「報恩講」を厳修致しました

HBMA NEWS

旧暦で、親鸞聖人の御命日にあたる11月28日に、報恩講が新しい開教事務所にて厳修され、ご縁のある皆様と共に親

(4ページへつづく)



着物の参加者に写経を体験して頂きました。
(21/11/21)



綺麗になったお内陣のお仏具。(19/12/21)



チャッツウッドで開催された日本の祭(18/12/21)

今月のことば

きょうもまた

ひか かがや ほとけ

光り輝くみ仏の

かお

お顔おがみて

うれしなつかし

いながきずいけん
稲垣瑞劔

*How happy and heartwarming
it is for me
to gaze up at Amida's face
again today.*

《by Rev Zuiken Inagaki》



(『2022 令和4年 法語カレンダー』“2021 Calendar
with Dharma Words” / 真宗教団連合刊)

鸞聖人の御遺徳を偲び有難い法会を執り行うことが出来ました。奥山裕子さん、三井ブラウン綾子さん、湖城律子さん、ハワードひとみさん、シャーマン・ジョナサンさん、そして我が家のみんなで一緒にお勤めを致しました。皆様、ご参拝有り難うございました。 合掌



報恩講にお参りされた皆様と。(28/11/21)

除夜会、修正会を厳修しました

大晦日(12月31日)の夕方に、2021年度最後のお勤め、除夜会(じょやえ)を厳修、参列者と除夜



お焼香をして鐘を鳴らしました。(31/12/21)の鐘を合わせて108回鳴らしました。

そして新年を迎え、元旦の朝11時には、一年の最初のお勤め、修正会を厳修。一年の最初にあたり、参拝者が新年の決意を阿弥陀様の前で誓わせて頂きました。合掌



新春恒例の書初めを行いました！



それぞれの新年の誓いをこめて書き初めを真剣に行いました (02/01/22)



令和4(2022)年 年回表



回忌	御往生年	西暦
1周忌	令和 3年	2021年
3回忌	令和 2年	2020年
7回忌	平成28年	2016年
13回忌	平成22年	2010年
17回忌	平成18年	2006年
●23回忌	平成12年	2000年
●25回忌	平成10年	1998年
●27回忌	平成 8年	1996年
33回忌	平成 2年	1990年
50回忌	昭和48年	1973年
100回忌	大正12年	1923年

●23回忌と、27回忌をお勤めした場合、25回忌を省く場合があります。また逆に25回忌をお勤めし、23回忌と27回忌を略することもあります。法要を予定されていらっしゃる方は、開教事務所までご連絡下さるようお願いいたします。



法味
今月の一句
by Akki

暖かい
朝陽が窓に差しこんで
今日1日も弥陀に守られ

ご 懇 念 録

Expression of Dana/Gratitude

この二ヶ月間で、下記の方々より総計 3,648.00ドルのご懇志をご進納頂きました。有り難うございました。またお賽銭箱には、計21.00ドルが浄財として参拝者より喜捨して頂いておりました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。 合掌

In the past month, donations to the amount of \$3,648.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA members and attendants have also deposited \$21.00 in the donation box which also deposited to the Hongwanji Temple of Sydney Building fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations

- * Mr Roy Cook (Adelaide, SA) - Membership contribution
- * Ms Kaoru Morioka - Membership/Building fund contribution
- * Rev Mark Healsmith (ACT, Canberra) - Membership contribution
- * Mr Yoshiaki Matsunaga - Membership contribution
- * Mr & Mrs Michio and Toyo Ochiai - Membership contribution
- * Mr Yoshikazu Shiobara (Japan) - Membership contribution
- * Ms Ayako Mitsui-Browne - Donations & Osaisens
- * Mr Hisakazu Akiyoshi - Donations
- * Ms Miyuki Kishida - Special donation
- * Mr Jonathan Shearman - Donation
- * Ms Masako Sugimoto (Japan) - Special donation (2022 Calendars)
- * Shakyō participants - Special donation
- * JCS Print
- * BCNSW Chaplain Fund



Thank you very much in Gassho



New Year Messages from HBMA ministers

Following yet another year of difficult and painful circumstances around the world, we find ourselves reflecting once again on the perennial truths of the Dharma and its message to us in periods of tribulation. While it is customary to wish each other a 'happy new year' at this time, whether 2022 will be any 'happier' than last year remains to be seen. After all, true well-being is to take refuge in Amida Buddha who confers, in any situation, real spiritual strength and solace; something the uncertain conditions of this fleeting world can never do. Therefore, I urge readers to retain their human dignity in this time of crisis and treat others compassionately in the face of growing hysteria and inhumane behaviour. Only the immeasurable light and life of Amida can dispel the current 'pandemic' of fearful anxieties, and help to heal the divisions among us that threaten to increase needless suffering in our society. May the new year grant you the opportunity to reaffirm your commitment to the Buddhist teaching which is the true medicine for what ails our hearts and minds.



**Rev John
Paraskevopoulos**

In Gassho,
Rev John Paraskevopoulos



Rev Mark Healsmith

The last two years have been difficult in so many ways for so many people, and as all of you will, I can only hope that 2022 is better. Whatever the New Year brings we can be sure that it will include the usual mixture of joy and sorrow, hope and despair. In the end we will live through whatever our karmic causes and conditions present, and in the end there is nothing we can do that will change that. There nothing we can do either about the great matter of life and death that is the context for all our worldly struggles. There is nothing we can do, but that is OK, because Amida Tathagata has already done everything for us. Just say the Nembutsu and be saved by Amida.

In Gassho,
Rev Mark Healsmith

New Year's message from our president

HNY!

This might well be a Hopeful New Year? It has been a very mixed year for us all with many trials and disappointments, stalled or trashed plans. Travel and freedom of movement has been restricted and holidays and jobs aborted and holiday trips ruined and families split apart.



Mr Graham Ranft

We are living in the middle of history as much as the world did in the great pandemic of 1918-20 the so called "Spanish Flu" which killed millions! Then there was no high-tech medicine in those far off days. We have much to thank the vax makers for who were able to come up with a workable vax in such a very short and quite unprecedented run-up time! This reminds us that life is never static and we can never tell what is just around the corner and none of us could have seen this coming!

I would like to thank Rev Shigenobu Watanabe for all he has done for us in bringing Jodo Shinshu to Australia and establishing a Jodo Shinshu Sangha in Sydney! The Buddha Dharma is however constant. So let us all take refuge in the Buddha, the Dharma and our little Sangha!

In Gassho,
Graham Ranft President HBMA 2021/22

New Year's Eve service (Joya-e)



In the evening of 31 December 2021, we observed Joya-e/New Year's Eve service, chanted a sutra together and hit a bell 108 times divided by all attendants. In Gassho,

New Year's Service (Shusho-e)

In the morning of New Year's day of 2022, we observed Shusho-e / New Year's service celebrating the first day of Year of the Tiger. We hope this new year will become a wonderful year! In Gassho,



We did "Kakizome" on 2 January 2022



On the second day of new year, as our ritual activity, we all wrote Shuji/calligraphy with a Fude (brush) and sumi (black charcoal paint). By writing these letters we are promising to act like we write throughout the year. It is like each one of our New Year's resolution. So we are hoping we can achieve what we wrote.

In Gassho



event were cancelled due to the Covid pandemic last year.

In May, we observed face-to-face Gotan'e service and Annual General Meeting at BCNSW office. We were fortunate to have Rev Mark Healsmith for this commemorative observance.

It was my honour to receive a certificate of appreciation, in recognition of 20 years of dedicated volunteer service as a chaplain from Royal North Shore Hospital on 18 May.

I once again joined nationwide "eVesak" organised by the Federation of Australian Buddhist Councils Inc. on 23 May.

From June another wave of Covid-19 arrived and we were under the lockdown again but I was able to participate in the Buddhist Council of NSW's AGM by zoom on 27 June.



New HBMA

In September, I ran my fifth **Sydney Marathon for the world peace and the future of HBMA**. The race was again held virtually within 5km from home, so each participant had to create his/her running course for 42.195km.



On 17 October, we were finally able to welcome people to the new HBMA Hondo/shrine room for the Sunday Service.



First Shakyo session. (21/11/21)

In November, we did a first trial of **Skakyo /Tracing the sutra** session and it was successfully accepted by all the participants who wore Kimono. Then, we observed our annual **Hoonko service** commemorating the four-



Gotan'e service at BCNSW (16/05/21).



Certificate of Appreciation from RNSH



I once again participated in national eVesak(23/5/21)



BCNSW's AGM (27/6/21)

During this lockdown, I had to unfortunately cancel Obon in August and the Cowra service in September,

During this lockdown, we decided to relocate our HBMA to Artarmon at the end of July, however could not open for the public until 17 October.



Omigaki took place after the last Sunday Service of the year 2021 (19/12/21)

to all participants who helped out!



Thank you letter from Killara PS

teacher at the **Killara Public School**, then a volunteering for the "**Japan Club of Sydney**", as a secretary and also the chief editor for their newsletter. I also give my support for "**Japanese Society of Sydney**" as a president of their swimming club,

It was another challenging year as we had to follow the guideline decided by Australian Government Department of Health to minimise the infection. Therefore, we were not able to observe all services during last couple of years. But I strongly hope the year 2022 will be a busy and meaningful year.

Amida Buddha's boundless compassion always reaches each one of us, with no discrimination or distinction. Once we realise Amida Buddha's supporting arms, which are always trying to embrace each of us, we will discover a life of appreciation. The **life of appreciation** is the way to live as a Jodo Shinshu follower.

Therefore, let us continue to live our faithful daily lives appreciating Amida Buddha's wisdom and compassion reciting Namo Amida Butsu, and try to help those who suffer.

I wish all readers of the bulletin safe, happy and meaningful days throughout the year. In Gassho,

Rev Shigenobu Watanabe



Hoonko Service held at the New HBMA



Hoonko Service. (28/11/21)

We have been using other locations for our major services for last few years, but finally we were able to observe our most important service, Hoonko, at HBMA Hondo. Thank you for those who participated! In Gassho,





BULLETIN



"Shin'nen Akemashite Omedeto Gozaimasu (Happy New Year!)" from Rev Watanabe family!



Minister's New Year Message

As we welcome the New Year 2022, on behalf of Hongwanji Buddhist Mission of Australia, I would like to express my sincere appreciation to each and every one of you who have supported HBMA, its activities and services, during this difficult year, as we experienced another 4 months long lock down, which was very hard period for everyone.

The Covid-19 has completely changed the whole world, all of our living style and common sense. Now, whenever we leave home we all need to have a mask, and we all know how to scan the QR code to enter shops. I am hoping the Covid-19 will become a general disease soon and we can return to our normal lives in world-wide.

Looking back the previous year 2021, I started to teach another scripture class at Killara Public School in February. All students and I had a joyous day celebrating Buddha's birthday in April, observing a simple Hana Matsuri service. However, because another wave of Covid-19 arrived and new restrictions started in June, so I had to stop



Killara Public School



Hana matsuri (01/04/21)

teaching unfortunately.

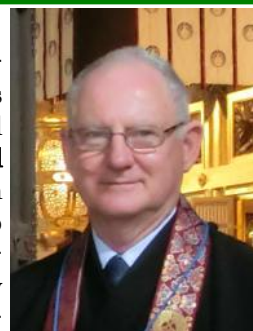


Group photo of the Clean up Australia Day at the Lane Cove National Park (07/03/21).

In March, we were able to participate in the annual Clean Up Australia Day event, Australia's largest mobilisation event, at the Lane Cove National Park. However, with the Covid restriction, we had to join as a small group, and could not take a whole

participants' group photo.

We were very sad to lose our beloved Dharma friend, HBMA's faithful supporter and ordained Jodo Shinshu minister, **Reverend George Gatenby** on Seventh March. I was able to make a trip to Adelaide and officiated his funeral service together with Rev John Paraskevopoulos from Canberra. Rev George's devotion to spreading the teaching of Nembutsu will be remembered by everyone who knew him. Big appreciation goes to Mr Roy Cooke who arranged funeral service and now looks after the Adelaide Dharma gathering.



**Rev George Gatenby
18/08/1943 - 07/03/2020**

Then on 11 March, it was my honour to officiate at the **10th year memorial ceremony of the East Japan Earthquake** at the NSW Teacher's Federation Hall in the City near the Central Station. This event has been organ-



Revs Watanabe, Mr Cooke & Rev Paraskevopoulos at the crematorium.(19/3/21)



Rev Watanabe officiated the 10th year memorial ceremony of the East Japan Earthquake(11/03/21)

ised by the Japan Club of Sydney Rainbow Project for a decade and through this fundraising events, there were wonderful exchange programs taken place between Fukushima and Sydney. However, the organising committee decided to make this anniver-

sary event for the final memorial event.

In April, we were able to observe Hana Matsuri service at the Buddhist Council Office, celebrating Buddha's



Hana Matsuri service (04/04/21).



With Archbishop Anthony Fisher (15/04/21)

birth with members and Dharma friends!

Also I was invited by Archbishop Anthony Fisher to join the After dinner at his Cathedral House. These service/

(Continues on page 3)

BULLETIN

New Year's Edition!

Volume23 - No. 1

11 January, 2022

Hongwanji Buddhist Mission of Australia



PO Box 292 Lindfield (Sydney)
N.S.W. 2070 AUSTRALIA
Phone : (02) 9403-1256
Mob : 0412 - 396 - 014
Email : hbma@optusnet.com.au
<http://www.hongwanji.com.au>

New Year's Greeting



Happy New Year, everyone! At the beginning of this New Year, I would like to extend my best regards to you all.

Over these past couple of years, we have had to adjust our lives in accordance with the scale of the spread of COVID-19. I would like to offer my deepest condolences to those who fell victim to the disease and express my sympathies to those who are undergoing treatment. I would also like to express my respect and sincere gratitude to the doctors, nurses, and frontline medical professionals who have been engaging in the treatment of infected people, as well as all essential workers who have made it possible for us to continue with our lives.

This infectious disease has severely impacted each one of us. With dramatic changes in life and work patterns, things not going as one hopes, and not being able to foresee the future, it is without a doubt that there are many who are struggling with the troubles and agony that have resulted.

In the following wasan poem, Shinran Shonin deeply reflected on himself and described what we humans are like,

Inside This Issue

New Year's Greeting - from Gomonsu	1
New Year Message from Resident Minister	2-3
HBMA News Hoonko Service	3
New Year's messages from Ministers and President	4
NYE & NYD services/Kakizome (New Year calligraphy)	4

*Although I take refuge in the true Pure Land way,
It is hard to have a true and sincere mind.
This self is false and insincere;
I completely lack a pure mind.*

(Hymns of the Dharma-ages)

As the wasan shows, we are basically incapable of accepting the reality of this world, such as, dependent origination, impermanence, and no-self. And because of this we constantly suffer. Only through being aware of and appreciating Amida Buddha's compassionate and salvific working, are we enabled to accept our true self. Shinran Shonin clarified that such ignorance is the very reason why Amida Buddha's working has reached every one of us. This salvific working of Amida Buddha encourages us to make the most of our abilities, regardless of the outcome of our efforts, and saves us just as we are. The comfort in knowing that we are embraced in Amida's compassionate Light allows us to be at ease and live each day with determination.

Keeping in mind that we are always embraced in Amida's compassionate Light, let us live each day to the fullest, even though we have yet to see the end of the tunnel. It is my hope that your temples will continue serving as your spiritual home, and therefore, I humbly ask for your understanding and cooperation in support of your temples. I would like to conclude my new year's greeting with my heartfelt appreciation to you all.

January 1, 2022

OHTANI Kojun
Monshu
Jodo Shinshu Hongwanji-ha

